

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 19 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 5 月 19 日 作成

事務事業名	図書館蔵書整備事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	教育委員会	課長名 高木 敏明
	施策	20	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名 末永 舞
	基本事業	70	生涯学習・スポーツ施設(環境)の整備	所属班	図書館班	(内線) 2511
				法令根拠	図書館法・合志市立図書館設置条例	

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	8
	1	10	5	8	11159~1162			コスト削減優先度評価結果	3

事業期間  単年度のみ  単年度繰返(開始年度 年度)  期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

**【事業の内容】**  
図書館資料収集基本方針及び資料廃棄基準に基づき、図書・雑誌・視聴覚資料(ビデオ・CD・DVD・カセットテープ)等の購入や除籍(廃棄)を行う。

**【業務の流れ】**  
具体的な図書の発注は、主に業者からの見計らい、課内の選書委員会でリストを見ながら選定したもの、利用者からの購入希望のものを参考に行うやり方がある。雑誌は休刊・廃刊になったものは別として、年に1度利用者からの要望も考慮し、見直しをする。視聴覚資料については、選書委員会でリストを見ながら選定する。

・除籍(廃棄)は定期的に行うものと、破損や紛失によってその都度行うものがある。

**【主な予算費目】**備品購入費 雲田費(消耗品費)

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	・資料の購入、データ整備。資料の除籍(廃棄)	平成20年度と同じ。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合志市民および合志市通勤・通学者、図書館来館者	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) 点 → ア 受入数 点 イ 除籍数 点
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民や利用者のニーズに応じて適正に資料を揃え、管理する。	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) 人 → ア 合志市人口 人 イ 図書館利用者数 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	活動する場がある。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) 点 → ア 年間貸出数 点 イ 上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) % → ア 学習に親しむ施設が整っていると思う市民の割合 % イ スポーツに親しむ施設が整っていると思う市民の割合 %

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年 度
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円		123	100	174	100	100	
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	34,740	30,685	24,227	23,909	26,422	26,422	
		うち指定経費	千円	34,740	30,808	24,327	24,083	26,522	26,522	
		うち時間外、特殊勤務手当	千円							
		正規職員従事人数	人	6	6	6	6	6	6	
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
人件費	(B)人件費計	千円	3,970	3,980	3,980	3,980	3,980	3,980		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	38,710	34,788	28,307	28,063	30,502	30,502	30,502	
活動指標	ア 点 イ 点		19914 22495	8441 22495	18000 9000	17520 12298	19000 9000	19000 9000	19000 9000	
対象指標	ア 人 イ 人		53000 140931	54175 145886	54500 145000	54407 129926	54500 145000	54500 145000	54500 145000	
成果指標	ア 点 イ 点		526706 72.9	595552 74.5	600000 74	632113 75.1	600000 74.5	600000 75	600000 75	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
西合志館・合志館は平成7年度、泉ヶ丘館は平成9年度に開館。開館に先駆け、各館開館前年度から事業を開始。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
開始時は資料の購入ばかりで、廃棄作業はほとんどなかったが、5~6年前から書庫がいっぱいになってきたため、破損や紛失等以外の廃棄資料数が多くなってきている。  
また、市の財政難から資料費の削減が行われており、より有効な資料の活用について更に考慮していかなければならなくなっている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
新刊や購入希望の本はなるべく早く提供してほしいとの要望がある。

事務事業名	図書館蔵書整備事業	所属部	教育委員会	所属課	生涯学習課
-------	-----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 市民や利用者のニーズに応じて適正に資料を揃え、管理するという意図は適正な公有財産の管理運営の結果と結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 図書館法・合志市立図書館設置条例により妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 主に合志市民・合志市内通勤通学者を対象としているため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 展示や情報提供の充実により、利用者へのサービスを向上させる余地がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 市民の知的財産を奪うこととなり、大いに影響がある。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 図書館以外に幅広い資料を収集する事業は他にない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 図書館以外に幅広い資料を収集する事業は他にない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 開館日、開館時間が現状のままであれば、削減の余地はない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 図書館利用者としてでない住民に利益の差がある。ただし、幼稚園・保育園・小中学生は園や学校・授業を通し、比較的公平に受益機会がある。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…展示や情報提供の充実により、利用者へのサービスを向上させる余地がある。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…図書館利用者としてでない住民に利益の差がある。ただし、幼稚園・保育園・小中学生は園や学校・授業を通し、比

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 移動図書館車や配本業務を充実させ、より広く住民が図書館を利用できるようにする。 展示や各種コーナーの充実を図り、また広報等での呼びかけにより多くの住民に図書館を利用してもらう。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	1	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )